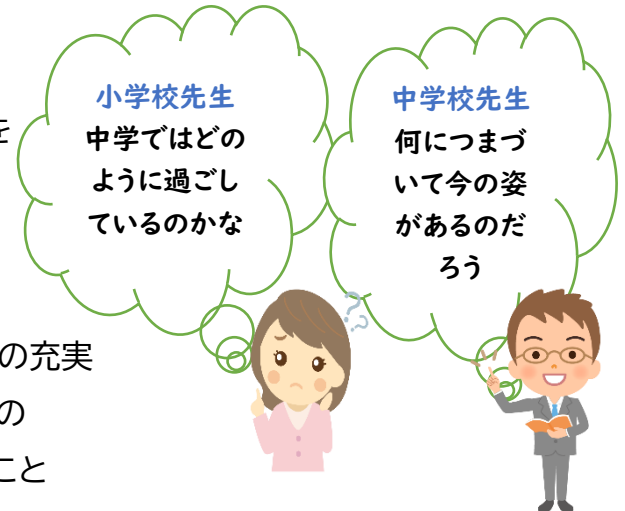


小中一貫の義務教育学校

阿智村学校のあり方検討委員会「中間まとめ書」11 ページの（1）小中一貫の義務教育学校について、地区懇談会やパブリック・コメントに寄せられた疑問や質問にお答えします。

Q1 「義務教育学校」ができた背景は？

- 1 義務教育 6-3 制の課題を克服し、よりよい教育を実現するため
 - ① 児童生徒の発達が早期化していること
 - ② 「中1ギャップ」（中学生の不適応や不登校等）
 - ③ 小中の枠を越えた連携による、学力向上・指導の充実
- 2 少子化等に伴い、学校に社会性育成の場（多世代の交流の場）としての機能が求められるようになったこと



Q2 「義務教育学校」と「小中一貫型小・中学校」の違いは？

義務教育学校は、一つの組織であるため、1名の校長先生のリーダーシップのもと、9年間を見通した教育目標を掲げ、教職員は小学校・中学校の分け隔てなく児童生徒の指導にあたります。

小中一貫型小・中学校であっても工夫により、さまざまな教育効果が期待できますが、一つの学校組織となる義務教育学校の方が、より特色のある、効果的な取組が可能となります。

		義務教育学校		小中一貫型小学校・中学校	
施設の形態		施設一体型	施設分離型	施設一体型	施設隣接・分離型
組織		1人の校長，一つの教職員組織		小・中それぞれの校長，教職員組織	
学年段階の区切り		4-5（前期-後期） 4-3-2（前期-中期-後期）など		従来通り，6-3（小学校-中学校）	
教員の免許		小・中両方の教員免許保有を原則		所属する学校の免許状があればよい	
特	独自教科	◎	○調整が必要	◎	○調整が必要
色	乗り入れ指導	◎	△移動に課題	○調整が必要	△移動，調整に課題
設置手続き		市町村の条例		市町村教育委員会の規則	

Q3 「義務教育学校」や「小中一貫型小・中学校」はどのくらいあるの？

義務教育学校

全国 約 240 校
県内 5 校



信濃小中学校



塩尻榑川小中学校



大町美麻小中学校



大町八坂小中学校



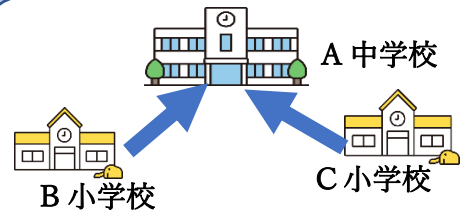
根羽学園



中川小中学校
(令和 13 年度開校予定)

(令和 7 年 5 月現在)

小中一貫型小学校・中学校



県内多くの市町村が実施

飯田市 28 校 9 学園

茅野市 9 小学校 4 中学校

須坂市学園(令和13~14 年予定)

天龍小学校・天龍中学校

売木小学校・売木中学校

新野小学校・阿南第二中

(令和 7 年 5 月現在)

Q4 義務教育学校の長所と課題は？

長 所

- 1 新しい環境での不安やストレスから起こる、中一ギャップの緩和や不登校の減少が期待できます。
- 2 異年齢の子どもたちとのコミュニケーションによる多様な人間関係を経験することができます。
- 3 中学校教員による教科担任制が実現されて、より専門性のある質の高い授業が受けられます。
- 4 独自教科(あち探究学習科など)で、村内各地の地域資源を活かした探究的な学びができます。
- 5 補充・発展学習プログラムなどの、阿智村独自カリキュラムを取り入れられます。
- 6 小中の教員がまとまるので、多くの教員同士でそれぞれのよさを学び吸収し合うことができます。

課 題

- 1 小学校卒業の達成感が薄れ、中学校の目新しさを感じられにくくなります。
- 2 小学校最高学年としてのリーダーシップや自主性を身につけられにくくなります。
- 3 9 年間という長いスパンでの教育に対する意識をもつことが必要になります。
- 4 転出入児童生徒への履修状況確認の配慮がより必要となります。